

社会資本総合整備計画 事後評価書

令和05年05月12日

計画の名称	奥州市宅地耐震化推進事業（防災・安全）												
計画の期間	令和02年度～令和02年度（1年間）								重点配分対象の該当	○			
交付対象	奥州市												
計画の目標	大規模盛土造成地の位置や規模をより精度の高いマップへと高度化し、公表することにより、更なる市民の防災意識の向上を図り、市の安全、安心なまちづくりに寄与する。												
全体事業費（百万円）	合計（A+B+C+D）	7	A	7	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C / (A+B+C+D)	0	%

番号	計画の成果目標（定量的指標）			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 (R2当初)	中間目標値 (R2末)	最終目標値 (R2末)
1	大規模盛土造成地の変動予測調査により、大規模盛土造成地の位置及び規模を把握するとともに対象箇所への優先度評価を実施する。 第二次スクリーニングの計画（造成年代別調査及び優先度評価） 調査実施面積 / 調査対象面積 [993.30 km <sup>2</sup> ]	0%	0%	100%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	○	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												R02	R03	R04	R05	R06			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
市街地整備事業	A13-001	宅地耐震	一般	奥州市	直接	奥州市	-	-	奥州市宅地耐震化推進事業	大規模盛土造成地の安全性の把握を行う事業	奥州市						7	-	
											小計						7		
											合計						7		

事後評価

事後評価の実施体制、実施時期	
事後評価の実施体制	事後評価の実施時期
奥州市都市整備部都市計画課で実施	令和5年5月
	公表の方法
	奥州市ホームページにて公表
事業効果の発現状況	
定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	第一次スクリーニング調査結果による大規模盛土造成地すべての箇所について、基礎資料の整理、造成年代別調査、現地調査を行い、その結果をガイドラインに基づきながら優先度評価及び宅地カルテを作成し安全性の検証を行った。併せて、優先度の高い箇所について第二次スクリーニング計画をを作成した。
定量的指標以外の交付対象事業の 効果の発現状況（必要に応じて記述）	
特記事項（今後の方針等）	
大規模盛土造成地対象箇所は経過観察することとし、奥州市災害対策本部条例及び規程に基づき1号以上の非常配備となった場合は、現地の安全状況を確認するため現地調査を行う。 また、大規模盛土造成地の更なる安全性を把握をするため、第二次スクリーニング調査の実施について検討していく。	

目標値の達成状況		
番号	指標（略称）	
	目標値 / 実績値	目標値と実績値に差が出た要因
1	第二次スクリーニング計画作成のための調査実施面積割合	
	最終目標値	100%
	最終実績値	100%